



ラ・ウォール 本町クリニック

女性のQOL(生活の質)は美と健康にあります

理事長・院長 瀧野 敏子 氏
 本社所在地 大阪府大阪市中央区本町3-5-2・2階
 主な事業内容 無床診療所
 従業員数 女性8名
 健康経営優良法人 2021・2022 2年連続認定

健康経営優良法人
2022 認定

中小規模



理事長・院長 瀧野 敏子 氏

「健康経営」＝「幸福経営」ととらえ、医療環境に置き換えると「すべての医療従事者が安心して働くことができる病院」という観点に立つと、患者さんが第一で患者さんに充実した医療サービスを提供するためには、医療に携わっているスタッフが満足して日々充実していることが重要だと思っています。「働きやすい病院」にするには、トップの理事長や院長の考えや思いが最も重要ですが、一番大事なのはスタッフに助け合い精神やお互いを気遣うような姿勢があるかどうかです。幸福な職場環境は人間関係が良好かどうか大切だと思っています。

健康経営に取り組むきっかけ

大阪ガス産業医の岡田邦夫先生(大阪市立大学医学部の先輩)が、2006年にNPO法人・健康経営研究会を設立された頃から個人的に「健康経営」の理念には共感していました。別組織のNPO法人イー・ジェイネットの代表理事として医療従事者の就労環境改善活動をしていく中で、医療機関にも就労環境改善の基本として「健康経営」の概念を取り入れることが必要だと感じましたので、それなら自分の足元であるクリニックから始めようと思いました。今後イー・ジェイネットの「働きたい病院認証事業(愛称ホスピレート)」の認証評価項目にも、受審病院が「健康経営に配慮した取り組みをしているか」を取り入れる予定です。

患者さん向けのコロナ対策が
スタッフ側の「健康経営」に役立つ

医療機関で常態化している長時間労働をいかに短縮して業績を向上させるか、という取り組みに苦労しました。ちょうどコロナ禍に突入した時期でもあり、時差出勤を取り入れクリニックの終了時間を1時間繰り上げて就労時間が減った分、仕事の効率をあげて収益を確保するためにクリニックのDXを行いました。幸か不幸かコロナ禍が追い風となり、患者さんの院内滞在時間の短縮だけでなく、タッチレスという患者さん向けコロナ対策がスタッフ側から考えても「健康経営」に役立つことがわかりました。DXというと具体的には、従来なら電話だけだった診察予約をオンラインでも24時間行えるようにした結果、スタッフが受ける予約の電話が減ったことに加え、問診もオンラインにして来院前に入力を済ませています。また、クレジットカード・QRコードなどキャッシュレス決済を推奨した結果感染防御に加えて、現金の受け渡しの手間やミス発生によるストレスを軽減できています。

テーマ
米国人の医者のかかりかた

米国人講師による
レクチャー風景



これからの課題だと感じていること

正社員の2020年の有給休暇取得率は94%でした。それをふまえた課題は、スタッフ一人ひとりの仕事の能力などによって同じ仕事量でも人によって時間外労働になる場合があり、その格差を組織としてどう改善できるのか、どうすれば仕事の生産性を向上していけるのか、時間外労働になるスタッフに対して業務プロセスの見直しを徹底していくことで、ここからさらに余裕ができ有給取得率が上がると思っています。

アピールしたい健康経営の取り組み

公認心理師とスタッフが直接やり取りできるように守秘義務契約を結び、ストレスチェックをしています。研修や健康情報の提供は看護師が講師となって事務スタッフに、また院長が講師となってスタッフ全員にレクチャーをする情報提供を行ったり、院長が選んだ注目記事をスタッフ全員に回覧したりしています。加えて、健康情報トピックスや治療薬についてスタッフ全員を対象にして製薬会社担当者から情報提供を受けています。その他、母体がクリニックなので健康管理に必要な検査(血液・超音波胃カメラ・心電図など)が、希望すれば自己負担なしで受けれます。メンタルヘルス不調者に対しては、カウンセリングを受ける機会を設けたり、カウンセリング・マインドフルネスなどについて学ぶ機会を設けたり、適切な対応をしています。それから、栄養士が主催の栄養知識や献立作成などの勉強会を実施して、食生活改善に向けた取り組みもしています。

今後の展望

現在、おおむね19時には仕事を終えて退社できています。2017年当時は、ほとんど毎日20時を過ぎていたので時代を感じます。今後は、18時半には退社できるように診療・仕事の密度や効率などをあげたいと思います。当院では、健康経営の実践によりスタッフのウェルビーイングの向上や「会社があなたをたいせつに思っている」という、スタッフ向けのメッセージを発信し続けることにもつながると考えています。このメッセージは、スタッフのエンゲージメントを向上させる為だけではなく患者さんに寄添うというスタッフの心身の余裕を引き出すと思っています。それは、患者さんに豊かな医療(診察・検査・注射など)を含めた健康管理を提供し続けるという、当院の使命を全うすることになります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。